

西都市の給与・定員管理等について

1 総括

(1)人件費の状況（普通会計決算）

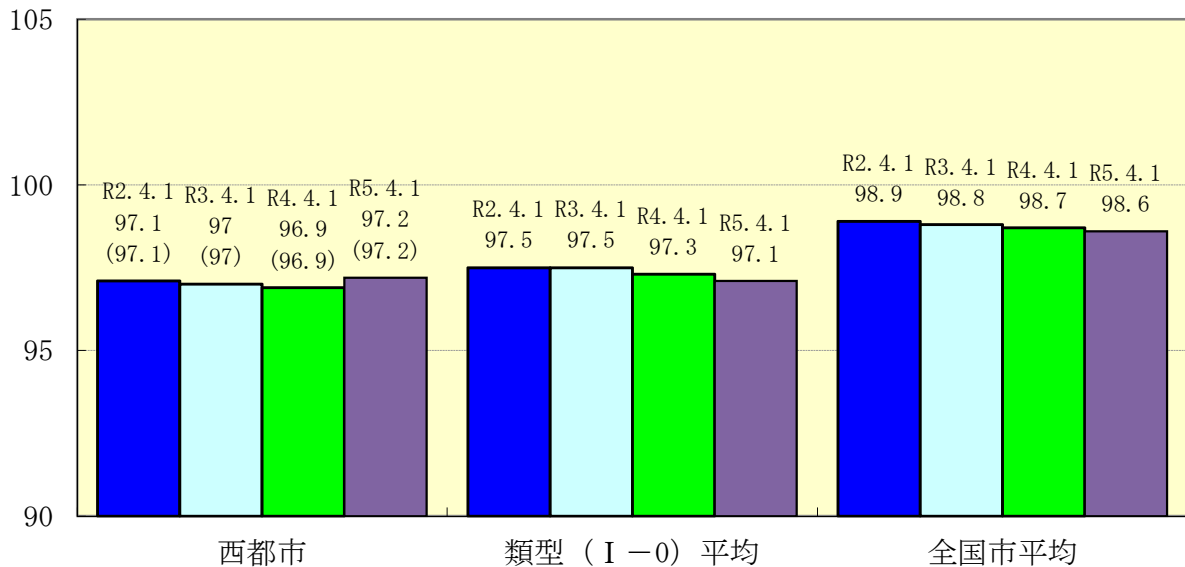
区 分	住民基本台帳人口 (令和5年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)R3年度の 人件費率
令和4年度	28,864 人	23,095,065 千円	736,200 千円	3,092,760 千円	13.4 %	12.4 %

(2)職員給与費の状況（普通会計決算）

区 分	職員数 A	給 与 費				(参考)一人当たり 給与費 (B/A)	(参考)類型区分平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和4年度	330 人	1,241,734 千円	214,977 千円	463,520 千円	1,920,231 千円	5,819 千円	5,780 千円

- (注) 1. 職員手当には退職手当を含まない。
 2. 職員数については、令和4年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員、再任用職員（短時間勤務）及び会計年度任用職員を含まない。
 3. 給与費については、任期付短時間勤務職員及び再任用職員（短時間勤務）の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

(3)ラスパイレス指数の状況



- (注) 1. ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2. () 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率) / (1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

3. 類型団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

※ 令和5年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

(4)給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。若年層については据え置き。高齢層については最大4%引下げ。激変緩和のため、当分の間、経過措置(現給保障)を実施。なお、経過措置は令和2年3月31日をもって廃止。

②地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

制度なし。

③その他の見直し内容

単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1)職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和5年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
西都市	43.8 歳	317,827 円	341,118 円	337,228 円
宮崎県	42.7 歳	310,489 円	375,783 円	334,948 円
国	42.4 歳	322,487 円	-	404,015 円
類型団体(I-0)	41.9 歳	311,083 円	366,040 円	335,141 円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A) (国比較ベース)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
西都市	54.3 歳	5 人	377,880 円	403,380 円	394,880 円	-	-	-	-
うち調理技術員	53.5 歳	4 人	374,650 円	405,475 円	395,900 円	飲食物調理従事者	47.9 歳	206,100 円	1.97
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国	51.2 歳	1941 人	286,942 円	-	329,178 円	-	-	-	-
類型団体(I-0)	51.7 歳	9 人	308,660 円	332,070 円	321,379 円	-	-	-	-

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
西都市	-	-	-
うち調理技術員	6,537,640 円	2,743,400 円	2.38

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。（令和2～令和4年の3ヵ年平均）。

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③税務職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
西都市	36.6 歳	279,900 円	298,510 円	293,600 円
宮崎県	—	—	—	—
国	42.0 歳	352,263 円	—	428,330 円
類型団体(I-0)	37.0 歳	279,674 円	346,438 円	296,668 円

④福祉職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
西都市	46.8 歳	354,036 円	372,381 円	367,127 円
宮崎県	—	—	—	—
国	44.2 歳	337,885 円	—	387,943 円
類型団体(I-0)	38.8 歳	281,387 円	306,737 円	293,365 円

⑤消防職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
西都市	42.3 歳	318,804 円	372,756 円	342,834 円
宮崎県	—	—	—	—
国	—	—	—	—
類型団体(I-0)	38.1 歳	295,661 円	357,045 円	322,900 円

⑥看護・保健職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
西都市	39.3 歳	306,327 円	327,636 円	320,236 円
宮崎県	—	—	—	—
国	47.8 歳	321,176 円	—	360,574 円
類型団体(I-0)	41.3 歳	316,142 円	369,411 円	330,453 円

- (注) 1. 「平均給料月額」とは、令和5年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
2. 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
- また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2)職員の初任給の状況（令和5年4月1日現在）

区分		西都市	宮崎県	国
一般行政職	大学卒	185,200 円	185,200 円	185,200 円
	高校卒	154,600 円	154,600 円	154,600 円
技能労務職	高校卒	154,600 円	—	—
	中学卒	— 円	—	—
税務職	大学卒	185,200 円	—	—
	高校卒	154,600 円	—	—
福祉職	大学卒	185,200 円	—	—
	高校卒	154,600 円	—	—
消防職	大学卒	185,200 円	—	—
	高校卒	154,600 円	—	—
看護・保健職	大学卒	185,200 円	—	—
	高校卒	154,600 円	—	—

(3)職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（令和5年4月1日現在）

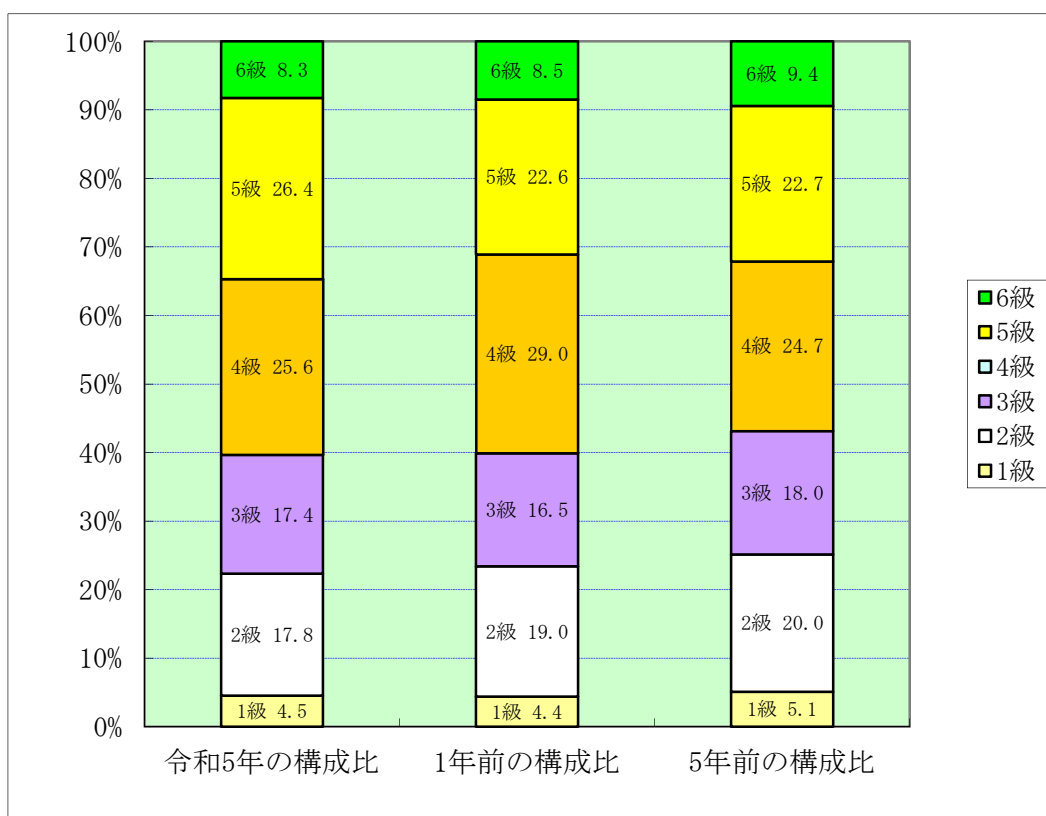
区分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	261,243 円	359,540 円	379,500 円	388,663 円
	高校卒	238,950 円	303,100 円	362,850 円	381,400 円
技能労務職	高校卒	—	—	—	—
	中学卒	—	—	—	—

3 一般行政職の級別職員数等の状況

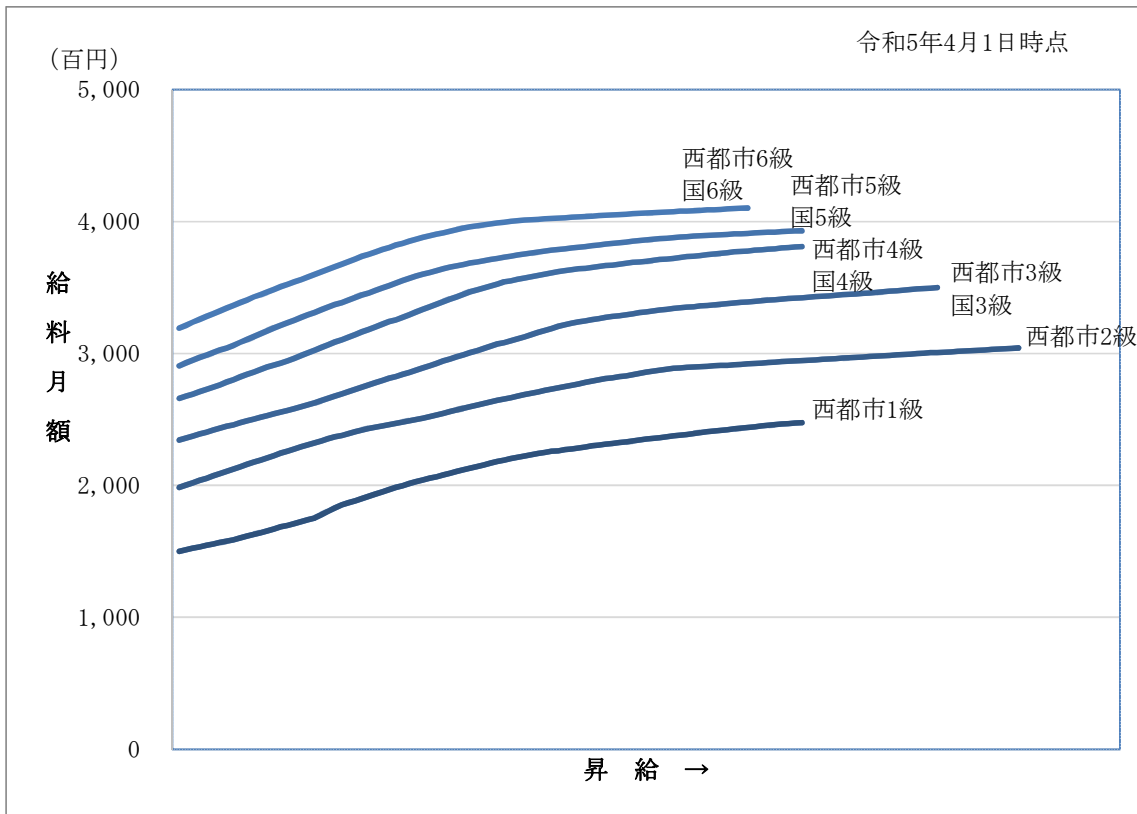
(1)一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和5年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
6級	課長・参事	20人	8.3%	319,200円	410,200円
5級	課長補佐・主幹	64人	26.4%	290,700円	393,000円
4級	係長・主査	62人	25.6%	266,000円	381,000円
3級	主任主事・主任技師	42人	17.4%	234,400円	350,000円
2級	主事・技師	43人	17.8%	198,500円	304,200円
1級	主事補・技師補	11人	4.5%	150,100円	247,600円

- (注) 1 西都市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2)国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和5年4月1日現在）



※西都市は国と同じ給料表を使用しているため、差異がありません。

(3)昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）（西都市）

令和5年度中における運用	管理職員		一般職員	
	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
イ 人事評価を活用している				
活用している昇給区分				
上位、標準、下位の区分				
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）	○		○	
ロ 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	令和6年度		令和6年度	

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

西 都 市	宮 崎 県	国
1人当たり平均支給額(令和4年度) 1,402 千円	1人当たり平均支給額(令和4年度) 1,531 千円	—
(令和4年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.40 月分 2.00 月分 (1.35) 月分 (0.95) 月分	(令和4年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50 月分 1.90 月分 (1.40) 月分 (0.90) 月分	(令和4年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.40 月分 2.00 月分 (1.35) 月分 (0.95) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25%

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

○ 勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（西都市）

令和5年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している	○			
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○			
上位、標準の成績率		○		
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ（一律）				
ロ 人事評価を実施していない			○	
活用予定時期			令和6年度6月期	

(2) 退職手当(令和5年4月1日現在)

西 都 市	国
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度 47.709 月分 47.709 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2~45%加算) 一人当たり平均支給額 14,626 千円	(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度 47.709 月分 47.709 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2~45%加算)

(注) 1. 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和4年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3)特殊勤務手当(令和5年4月1日現在)

支給実績(令和4年度決算)		4,832 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(令和4年度決算)		74,345 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(令和4年度)		18.1 %		
手当の種類 (手当数)		4		
主な手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (R4年度決算)	左記職員に対する支給単価
消防職員の特殊勤務手当	消 防 職 員	深夜の通信及び受付	1,901 千円	1勤務につき650円
消防職員の特殊勤務手当	消 防 職 員	水火災等出動	1,577 千円	1回につき300円
衛生業務に従事する職員の特殊勤務手当	生活環境課職員	犬猫等へい死体処理	13 千円	1頭につき200円
衛生業務に従事する職員の特殊勤務手当	新型コロナウイルス感染症対策避難所運営職員 消 防 職 員	新型コロナウイルス感染症に係る作業	1341 千円	1日につき3,000円 (長時間従事した場合) 1日につき4,000円

※ 月額特殊勤務手当については、平成24年1月1日に廃止。

(4)時間外勤務手当

支給実績(令和4年度決算)	100,712 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和4年度決算)	300 千円
支給実績(令和3年度決算)	95,271 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)	279 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(5)その他の手当（令和5年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和4年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和4年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500 円 子 10,000 円 父母等 6,500 円 満16歳の年度初めから満22歳の 年度末までの子1人につき 5,000 円	同じ	—	千円 45,793	263,178 円
住居手当	借家・借間で月額27,000円 以下を支払っている職員(最高) 11,000 円 月額27,000円以上の場合最高 28,000 円	同じ	—	千円 27,159	251,476 円
通勤手当	交通機関利用者限度額 55,000 円 交通用具利用 2 km ~ 5 km 2,000 円 5 km ~ 10 km 4,200 円 10 km ~ 15 km 7,100 円 15 km ~ 20 km 10,000 円 20 km ~ 25 km 12,900 円 25 km ~ 30 km 15,800 円 30 km ~ 35 km 18,700 円 35 km ~ 40 km 21,600 円 40 km ~ 45 km 24,400 円 45 km ~ 50 km 26,200 円 50 km ~ 55 km 28,000 円 55 km ~ 60 km 29,800 円 60 km以上 31,600 円	同じ	—	千円 16,441	81,390 円
管理職手当	課長級 月額42,000円	同じ	—	千円 11,592	504,000 円

5 特別職の報酬等の状況（令和5年4月1日現在）

区分		給料月額等		
給料	市長	840,000円 (840,000円)	(参考) 類型団体における最高/最低額 926,000円 / 637,000円	
	副市長	670,000円 (670,000円)	775,000円 / 571,000円	
報酬	議長	424,000円 (424,000円)	505,000円 / 328,000円	
	副議長	361,000円 (361,000円)	450,000円 / 285,000円	
	議員	349,000円 (349,000円)	420,000円 / 270,000円	
期末手当	市長 副市長	(令和4年度支給割合) 3.3月分		
	議長 副議長	(令和4年度支給割合) 3.3月分		
退職手当	市長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副市長	840,000円×48月×0.5	20,160,000円	任期毎
	備考	670,000円×48月×0.3	9,648,000円	任期毎

(注) 1. 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2. 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

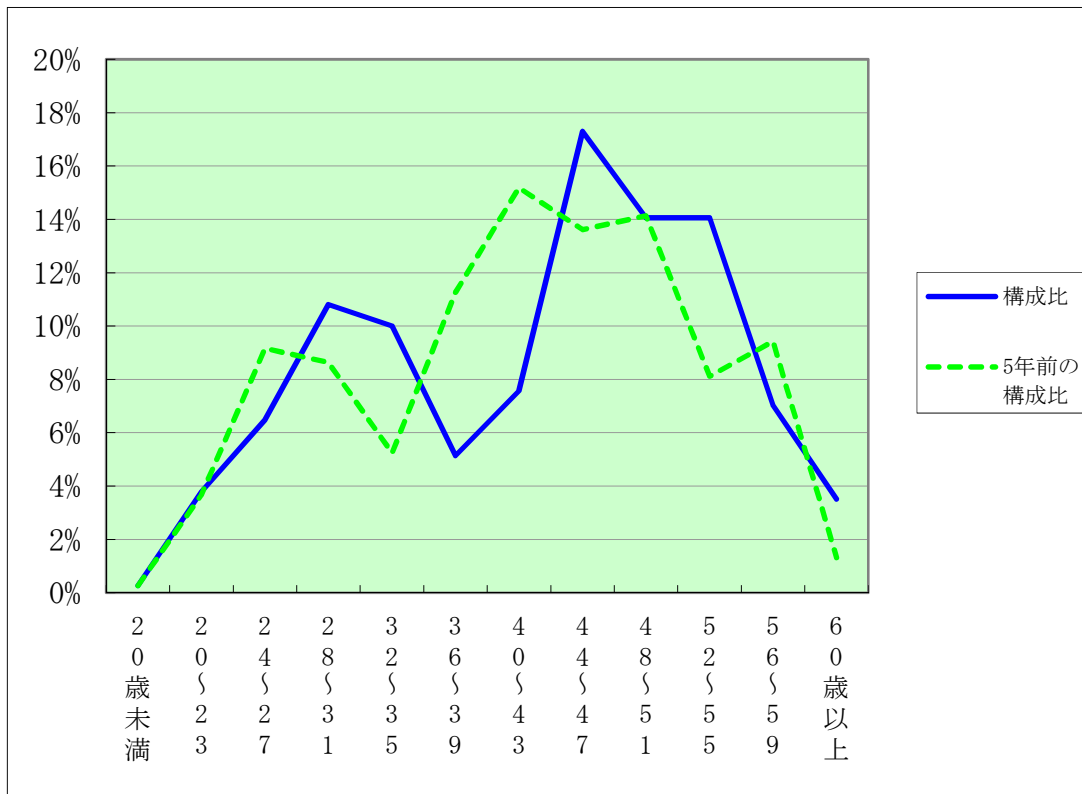
(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
		令和4年	令和5年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	5	5	0	
		総務企画	73	72	▲ 1	(減)秘書業務の見直し
		税務	20	20	0	
		民生	44	43	▲ 1	(減)子ども子育て支援関連
		衛生	24	21	▲ 3	(減)新型コロナウイルス関連 等
		労働	0	0	0	
		農林水産	35	35	0	
		商工	15	15	0	
		土木	31	31	0	
		計	247	242	▲ 5	<参考> 人口1万当たり職員数 83.84人 (類似団体の人口1万当たり職員数 77.05人)
	教育部門	37	38	1	(増)国民スポーツ大会準備に伴う業務の増	
	消防部門	46	46	0		
	小計	330	326	▲ 4	<参考> 人口1万当たり職員数 112.94人 (類似団体の人口1万当たり職員数 100.65人)	
	公営企業等会計部門	水道	11	11	0	
下水道		5	5	0		
その他		28	28	0		
小計		44	44	0		
合計		374 [460]	370 [460]	▲ 4	<参考> 人口1万当たり職員数 128.19人	

- (注) 1. 職員数は一般職に属する職員数である。
2. []内は、条例定数の合計である。

(2)年齢別職員構成の状況（令和5年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	1人	14人	24人	40人	37人	19人	28人	64人	52人	52人	26人	13人	370人

※特別職、環境整備事務組合への派遣職員及び任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））は除きます。

(3)職員数の推移

部門別	30年	31年	R2年	3年	4年	5年	過去5年間の増減数（率）
一般行政	256	254	247	247	247	242	▲ 14 (▲5.5%)
教育	37	37	38	38	37	38	1 (2.7%)
消防	46	46	46	45	46	46	0 (0.0%)
普通会計計	339	337	331	330	330	326	▲ 13 (▲3.8%)
公営企業等会計計	43	44	43	44	44	44	1 (2.3%)
総合計	382	381	374	374	374	370	▲ 12 (▲3.1%)

- (注) 1. 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。
 2. 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア. 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) R3年度の総費用に占 める職員給与費比率
令和4年度	千円 509,646	千円 45,009	千円 62,882	% 12.3	% 11.9

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 (B/A)	(参考) 類型団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計 B		
令和4年度	人 10	千円 42,830	千円 3,974	千円 16,078	千円 62,882	千円 6,288	千円 6,018

- (注) 1. 職員手当には退職手当を含まない。
 2. 職員数は、令和5年3月31日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））を含み、会計年度任用職員を含まない。
 3. 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況(令和5年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
西都市	42.2 歳	329,136 円	464,361 円
団体平均	45.7 歳	335,310 円	500,619 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア. 期末手当・勤勉手当

西都市	団体平均
1人当たり平均支給額(令和4年度) 1,462 千円	1人当たり平均支給額(令和4年度) 1,438 千円
(令和4年度支給割合) 期末手当 2.40 月分 勤勉手当 2.00 月分 (1.35) 月分 (0.95) 月分	—
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15%	—

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ. 退職手当 (令和5年4月1日現在)

西都市	団体平均
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度 47.709 月分 47.709 月分 その他の 定年前早期退職特例 加算措置 措置(2~45%加算) 一人当たり 平均支給額 — 千円	— 一人当たり 平均支給額 8,676千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、4年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ. 特殊勤務手当（令和5年4月1日現在）
支給なし。

エ. 時間外勤務手当

支給実績(令和4年度決算)	2,178 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和4年度決算)	218 千円
支給実績(令和3年度決算)	2,236 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)	224 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（○年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

オ. その他の手当（令和5年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和4年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和4年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500 円 子 10,000 円 父母等 6,500 円 満16歳の年度初めから満22歳の 年度末までの子1人につき 5,000 円	同じ	—	1,673 千円	209,125 円
住居手当	借家・借間で月額27,000円 以下を支払っている職員(最高) 11,000 円 月額27,000円以上の場合最高 28,000 円	同じ	—	1,005 千円	251,200 円
通勤手当	交通機関利用者限度額 55,000 円 交通用具利用 2 km ~ 5 km 2,000 円 5 km ~ 10 km 4,200 円 10 km ~ 15 km 7,100 円 15 km ~ 20 km 10,000 円 20 km ~ 25 km 12,900 円 25 km ~ 30 km 15,800 円 30 km ~ 35 km 18,700 円 35 km ~ 40 km 21,600 円 40 km ~ 45 km 24,400 円 45 km ~ 50 km 26,200 円 50 km ~ 55 km 28,000 円 55 km ~ 60 km 29,800 円 60 km以上 31,600 円	同じ	—	229 千円	76,400 円
管理職 手当	課長級 月額42,000円	同じ	—	504 千円	504,000 円

(2) 下水道事業

① 職員給与費の状況

ア. 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) R3年度の総費用に占 める職員給与費比率
令和4年度	千円 595,227	千円 11,291	千円 26,884	% 4.5	% 3.7

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 (B/A)	(参考) 類型団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計 B		
令和4年度	人 5	千円 18,866	千円 1,517	千円 6,501	千円 26,884	千円 5,377	千円 5,936

- (注) 1. 職員手当には退職手当を含まない。
 2. 職員数は、令和5年3月31日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））を含み、会計年度任用職員を含まない。
 3. 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況(令和5年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
西都市	46.7 歳	351,925 円	474,296 円
団体平均	44.3 歳	330,766 円	493,186 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア. 期末手当・勤勉手当

西 都 市	団体平均
1人当たり平均支給額(令和4年度) 1,300 千円	1人当たり平均支給額(令和4年度) 1,425 千円
(令和4年度支給割合) 期末手当 2.40 月分 (1.35) 月分 勤勉手当 2.00 月分 (0.95) 月分	—
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15%	—

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ. 退職手当 (令和5年4月1日現在)

西 都 市	団体平均
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度 47.709 月分 47.709 月分 その他の 定年前早期退職特例 加算措置 措置(2~45%加算) 一人当たり 平均支給額 — 千円	— 一人当たり 平均支給額 6,238千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、4年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ. 特殊勤務手当（令和5年4月1日現在）

支給なし。

エ. 時間外勤務手当

支給実績(令和4年度決算)	566 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和4年度決算)	113 千円
支給実績(令和3年度決算)	482 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)	161 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（○年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

オ. その他の手当（令和5年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和4年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和4年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500 円 子 10,000 円 父母等 6,500 円 満16歳の年度初めから満22歳の 年度末までの子1人につき 5,000 円	同じ	—	360 千円	180,000 円
住居手当	借家・借間で月額27,000円 以下を支払っている職員(最高) 11,000 円 月額27,000円以上の場合最高 28,000 円	同じ	—	270 千円	270,000 円
通勤手当	交通機関利用者限度額 55,000 円 交通用具利用 2 km ~ 5 km 2,000 円 5 km ~ 10 km 4,200 円 10 km ~ 15 km 7,100 円 15 km ~ 20 km 10,000 円 20 km ~ 25 km 12,900 円 25 km ~ 30 km 15,800 円 30 km ~ 35 km 18,700 円 35 km ~ 40 km 21,600 円 40 km ~ 45 km 24,400 円 45 km ~ 50 km 26,200 円 50 km ~ 55 km 28,000 円 55 km ~ 60 km 29,800 円 60 km以上 31,600 円	同じ	—	713 千円	142,560 円
管理職 手当	課長級 月額42,000円	同じ	—	0 千円	0 円

(3)農業集落排水事業

①職員給与費の状況

ア. 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) R3年度の総費用に占 める職員給与費比率
令和4年度	千円 114,098	千円 3,257	千円 6,231	% 5.5	% 5.7

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 (B/A)	(参考) 類型団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計 B		
令和4年度	人 1	千円 4,549	千円 38	千円 1,644	千円 6,231	千円 6,231	千円 —

- (注) 1. 職員手当には退職手当を含まない。
 2. 職員数は、令和5年3月31日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））を含み、会計年度任用職員を含まない。
 3. 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

②職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況(令和5年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
西都市	46.1 歳	387,100 円	524,070 円
団体平均	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③職員の手当の状況

ア. 期末手当・勤勉手当

西 都 市	団体平均
1人当たり平均支給額(令和4年度) 1,644 千円	1人当たり平均支給額(令和4年度) — 千円
(令和4年度支給割合) 期末手当 2.40 月分 (1.35) 月分 勤勉手当 2.00 月分 (0.95) 月分	—
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15%	—

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ. 退職手当 (令和5年4月1日現在)

西 都 市	団体平均
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度 47.709 月分 47.709 月分 その他の 定年前早期退職特例 加算措置 措置(2~45%加算) 一人当たり 平均支給額 — 千円	— 一人当たり 平均支給額 —

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、4年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ. 特殊勤務手当（令和5年4月1日現在）
支給なし。

エ. 時間外勤務手当

支給実績(令和4年度決算)	362 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和4年度決算)	362 千円
支給実績(令和3年度決算)	338 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(令和3年度決算)	338 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（○年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

オ. その他の手当（令和5年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和4年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和4年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500 円 子 10,000 円 父母等 6,500 円 満16歳の年度初めから満22歳の 年度末までの子1人につき 5,000 円	同じ	—	240 千円	240,000 円
住居手当	借家・借間で月額27,000円 以下を支払っている職員(最高) 11,000 円 月額27,000円以上の場合最高 28,000 円	同じ	—	0 千円	0 円
通勤手当	交通機関利用者限度額 55,000 円 交通用具利用 2 km ~ 5 km 2,000 円 5 km ~ 10 km 4,200 円 10 km ~ 15 km 7,100 円 15 km ~ 20 km 10,000 円 20 km ~ 25 km 12,900 円 25 km ~ 30 km 15,800 円 30 km ~ 35 km 18,700 円 35 km ~ 40 km 21,600 円 40 km ~ 45 km 24,400 円 45 km ~ 50 km 26,200 円 50 km ~ 55 km 28,000 円 55 km ~ 60 km 29,800 円 60 km以上 31,600 円	同じ	—	0 千円	0 円
管理職 手当	課長級 月額42,000円	同じ	—	0 千円	0 円